

ワーク用品の卸問屋からメーカーへ 社員全員で自社商品開発！ あらゆる現場の作業環境を改善

キタヤマ



お客様の声が成果につながった自社ブランド「Try Ant」

キタヤマ（大田区大森本町、北山
秀明代表取締役、03・3765・

1251、<http://www.e-kitayama.jp>）は、作業用品メーカーである。

業歴を遡ると、創業70年を超える作業用品卸問屋でもあるが、昨今、卸売・問屋業は苦境に立たされている。インターネット通販の発達やコスト削減の風潮で、中間業者を介さない販売ルート開拓へと、社会の流れが加速しているからだ。そんな逆風の中、同社の北山代表は「問屋業だけでは今後の先細りが目に見えている。魅力ある商品を独自で開発し、メーカーへ転身しなければ生き残れない」という危機感を強くした。しかし、いざ自社商品開発を始めるも、なかなか成功しない。問屋業にて長年培った商品知識、ノウハウを活かすだけでなく、お客様の声も取り入れるように努め、自社ブランド「Try Ant」（<http://www.tryant.jp>）を立ち上げて6年。長靴・安全靴・手袋を中心に、顧客・業界関係者からの反響を受け、予想を

上回る成果を上げてきた。

同社の強みは自社商品だけではない。活気ある従業員が集う職場環境にもある。代表は商品開発の際、社員全員でアイデアを出し合うことにこだわり、顧客を引き付ける「これだ!」というアイデアが出るまで何度でも社員に問い続ける。そうしてつくり上げた商品には社員全員の想いが宿り、営業にもより一層の力が入るのである。社員一丸となって商品開発に組織むことが、活気あふれる職場環境へとつながっている。

「作業のあるところ、必ずその仕事に合ったワーク用品が必要である」。先代のこの言葉には、自社の商品によって作業環境の改善を図り、社会に貢献していきたいという揺るがぬ想いが込められている。



商品開発は社員全員で!



商談会にも積極的に出展、
自社製品のよさをPR